

議会広報委員が市内の注目スポットを取材!!
議員ふじさん歩
 今回の取材担当:佐野 智昭

vol.12



三四軒屋緑道公園
 ~ロシア軍艦ディアナ号の錨~



◀ プチャーチン提督像

錨の全長 4.2 m ▶
 重さ 3 t の錨

江戸時代末期、開国と通商を求めて下田へ来航し、安政大地震の津波で大破したロシア軍艦ディアナ号。修理のため戸田港に向かう途中、嵐に遭い、三四軒屋沖まで漂流し、沈没したと伝えられています。

沈没の様子を見ていた宮島村（現：富士市宮島）の人たちは、危険も顧みず、約 500 人の乗組員全員を助け出しました。

三四軒屋緑道公園には、昭和 51 年 8 月に三四軒屋沖合海底から引き上げられたディアナ号の錨とプチャーチン提督像が設置されています。この錨は、平成元年 12 月に富士市指定有形文化財に登録されています。

先人の勇気と優しさあふれる行動を、長く後世に語り継いでいきたいという地区の皆さんの熱い思いも込められ、公園はいつも綺麗に管理されています。また遊歩道には、遊具やベンチが配置され、緑豊かな憩いの場としても貴重な空間となっています。

議会にひと言

今回は、静岡理科大学星陵中学校・星陵高等学校の前校長で、長年、高校野球の指導者もされていた坪井正明さんに伺いました。

(インタビュー：長谷川祐司)

パソコンやスマートフォンは、もはや私たちの日常生活に欠かせない存在です。現在、学校現場でも、タブレット型パソコン等を用いた ICT 教育の導入が進められています。



視覚や聴覚へ訴えかける分かりやすい授業により、子供たちが確かな学力を身につけ、膨大な情報の中から必要な知識を主体的に選び取り、活用できる能力の育成などを目的にしています。

ICT 教育は、教育の質の向上や時代が求める新しい学びの実現に有効なものと考えます。富士市議会には、将来の富士市を担う子供たちのために、ICT 教育の環境整備と推進を期待します。

議会 vol.12
ヒストリー

富士市の基幹病院
 中央病院建設 (昭和 59 年)



中央病院は、昭和 24 年に旧富士町の町立病院として発足し、昭和 41 年の 2 市 1 町の合併による人口増加や、高度医療・救急医療への需要の高まりから、富士市の基幹病院としての規模・機能が求められるようになりました。

昭和 51 年には、市民団体から中央病院の拡充・改善を求める請願が提出され、昭和 54 年には市当局から増改築案が示されました。市議会からは旧吉原市にもう 1 つ病院を新設する案や、拡充整備で対応する案が出され、同年、中央病院拡充整備特別委員会が設置されました。

幾度も計画が練り直され、検討が重ねられ、昭和 59 年の開院を迎えました。当時の記録からは、高度医療・救急医療、感染症対応といった公立病院が担うべき役割とその財政負担をどう賄っていくか盛んな議論の跡がうかがえます。
 (担当：井上保)

編集後記

昨年は、世界中がコロナ危機に直面し、日常生活や経済活動などに多大な影響を及ぼしました。2月定例会では、ワクチン接種、生活支援、経済対策などの未来を大きく左右する事業に係る追加補正予算案も上程され、本会議即決で可決。感染症対策の決め手となるワクチン接種が高齢者から開始されます。令和 3 年度はコロナ危機を克服する取組を実施し、誰もが安心して暮らすことのできる富士市の構築に全力を尽くし、前進していきます。
 (井出晴美)

次回定例会予告

6月定例会は、6月14日から7月1日まで開催される予定です。常任委員会委員の改選等が行われる予定です。

発行
富士市議会
 編集
議会広報委員会
 静岡県富士市永田町1丁目100番地
 ☎ 0545 (55) 2878 (直通)

ウェブサイト